

第 3 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成 2 7 年 2 月 1 9 日

定 例 会

平成27年第3回越谷市教育委員会会議録

招集年月日 平成27年2月19日
 招集の場所 教育委員会室
 開閉会日時 開会2月19日 午前10時00分
 閉会2月19日 午前11時42分

出席委員

委員長	住田 俊	委員 長者	櫻田 玲子
委員	堀川 智子	委員	進藤 秀子
委員 (教育長)	吉田 茂		
欠席委員	なし		

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	横川 清	学校教育部長	野口 久男
教育総務部 副部長兼 生涯学習課長	斉藤 美子	学校教育部 参事兼 学校管理課長	日下部 行雄
教育総務部 副参事兼 図書館長	小林 彰博	学校教育部 副参事兼 指導課長	五十畑 勝己
教育総務部 副参事兼 スポーツ振興 課長	植田 春夫	学務課長	上野 高弘
教育総務課長	山梨 一弘	給食課長	川村 明
生涯学習課 主幹兼 科学技術体験 センター所長	小林 中子	指導課主幹兼 教育センター 所長	大西 久雄
新方公民館長	中村 昌治	給食課主幹兼 第一学校給食 センター所長	坂巻 真人
		指導課主幹	中台 正弘

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副主幹	渋谷 博之
--------------	-------

	議 事	て ん 末
議 事 状 況	教育長報告	
	・教育長専決について	
	議 案	
	・第4号議案 越谷市教育委員会事務局職員の分限処分について	秘密会
	・第5号議案 平成26年度皆勤賞等被表彰者の決定について	秘密会
	協議事項	
	・平成27年度越谷市教育行政重点施策について	

◎開会の宣告

住田委員長 それでは、これより２月の定例教育委員会会議を開会いたします。

本定例会に関し、現在のところ傍聴許可願の提出はございませんが、「越谷市教育委員会傍聴人規則」第１条第２項の規定により、開会後に許可願が提出された場合、傍聴を許可したいと存じます。

初めに、第４号及び第５号議案については、人事案件等であることから秘密会とし、先に審議したいと思いますが、これにご異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ないようですので、そのように進めさせていただきます。

(午前１０時００分)

◎教育長報告

住田委員長 それでは、教育長報告に入ります。

教育長報告「教育長専決第１号について」、教育長のご説明をお願いします。

吉田教育長 指導課長。

五十畑指導課長 それでは、教育長専決につきましてご報告を申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の１ページをご覧ください。去る１月２９日の教育委員会会議以降、本日までの間に教育長が専決処理いたしました事項について、ご報告させていただきます。

こちらにつきましては、教育委員会会議の議決事項でございますが、緊急に処理する必要があり、かつ教育委員会会議を招集するいとまがなかったことから、越谷市教育委員会教育長に対する事務委任規則第２条第２項の規定に基づき、教育長が専決処理を行ったものでございます。なお、教育長が専決処理を行った事項につきましては、同規則第２条第３項の規定に基づきまして、本定例会においてご報告をさせていただくものでございます。

初めに、専決第１号について、ご報告させていただきます。恐れ入りますが、会議要項の３ページをお開きください。

専決第１号 越谷市いじめ問題対策連絡協議会条例の原案決定について。

越谷市いじめ問題対策連絡協議会条例の原案決定について、別紙のとおり専決処理する。

平成２７年２月４日、越谷市教育委員会教育長。

次に、会議要項の５ページをお開きください。こちらは、平成２７年３月定例市議会に越谷市長が提出する議案の原案でございます。提案理由でございますが、いじめ防止対策推進法第１４条第１項の規定に基づき、越谷市いじめ問題対策連絡協議会を設置するため、提案するものでござい

ます。

会議要項の7ページをお開きください。本条例の概要について、ご説明させていただきます。
いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とする「いじめ防止対策推進法」及びそれを受けて本年1月、臨時教育委員会会議において原案を議決いただいた「越谷市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携、その他いじめ問題の対策について必要な事項を協議するため、新たに条例を制定して、越谷市いじめ問題対策連絡協議会を設置するものでございます。

委員の構成につきましては、越谷人権擁護委員協議会の代表者、市PTA連合会の代表者、市立小学校長の代表者、市立中学校長の代表者、教育長、越谷児童相談所長、市の職員、関係行政機関の職員の計11名以内といたします。市の職員につきましては、具体的には企画部長、子ども家庭部長及び学校教育部長を予定しております。関係行政機関の職員につきましては、さいたま地方法務局越谷支局長及び越谷警察署生活安全課長を予定しております。さらに、会長は教育長、副会長は越谷児童相談所長とし、委員の任期は2年、再任を妨げないものといたします。

なお、委員の報酬等でございますが、去る1月21日に開催された報酬審議会における答申を踏まえ、報酬を月額5,500円、費用弁償を月額2,500円とするものでございます。

本条例は、4月1日から施行してまいりたいと考えております。

教育長専決第1号についてのご報告は以上でございます。

住田委員長 ただいまの事務局のご説明に対しまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 次のいじめ防止対策委員会条例とも少し絡んで、その比較なのですが、こちらのいじめ防止対策委員会条例に関しましては、第7条で会議の原則公開を明記しているのですが、これに対しまして本件のいじめ問題対策連絡協議会に関しましては会議の公開を原則とするということがあえてうたっていないのですが、ここの取り扱いの差に関しては何か理由があるのでしょうか。

吉田教育長 指導課長。

五十畑指導課長 いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する重大事態とは、もうご存じだと思いますけれども、いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身または財産に重大な被害が生じたときあるいは疑いがあるとき等が規定されておまして、その調査、審議においては、例外なく情報公開条例第7条第1号に該当する個人情報を取り扱うこととなるため、原則非公開ということで考えております。

また、学校では重大事態への対応に際し、高度な判断を求められると同時に、深刻な状況に陥っている被害側、加害側双方の児童生徒の保護を最優先しなければならないために、本委員会に

において重大事態を扱う場合については非公開とさせていただいているところでございます。

なお、いじめ問題対策連絡協議会のほうでは、特に個人的なものを一つ一つ扱うわけではありませんので、全体としては公開で考えているところでございます。

進藤委員 確認なのですが、いじめ防止対策委員会条例の6項に関しては、ただし書きのほうに意味があるということで理解してよろしいわけですか。

五十畑指導課長 そのとおりです。

進藤委員 これを言いたいがために、あえて原則をうたっているということですね。

五十畑指導課長 大変わかりづらい説明で申しわけありませんが、そのとおりでございます。

住田委員長 他に。

吉田教育長 学校教育部長。

野口学校教育部長 今質問にありました越谷市いじめ問題対策連絡協議会につきましては、越谷市教育委員会審議会等の設置及び運営に関する要綱の趣旨に従いまして、会議は原則として、公開とするということになってございます。ただ、2つ目のいじめ防止対策委員会につきましては原則公開で、個人情報等が絡む場合には非公開ということで、その辺の整理をさせていただいているところでございます。

以上でございます。

住田委員長 他によろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、ではこの件については報告を受けたということにさせていただきます。

次に、教育長報告、教育長専決第2号について、教育長のご説明をお願いします。

吉田教育長 指導課長。

五十畑指導課長 続きまして、専決第2号について報告をさせていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の11ページをお開きください。

専決第2号 越谷市いじめ防止対策委員会条例の原案決定について。

越谷市いじめ防止対策委員会条例の原案決定について、別紙のとおり専決処理する。

平成27年2月4日、越谷市教育委員会教育長。

次に、会議要項の13ページをお開きください。こちらは、平成27年3月定例市議会に越谷市長が提出する議案の原案でございます。提案理由でございますが、いじめ防止対策推進法第14条第3項の規定に基づき、越谷市教育委員会の附属機関として、越谷市いじめ防止対策委員会を設置するため、提案するものでございます。

会議要項の15ページをお開きください。本条例の概要についてご説明させていただきます。い

じめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とする「いじめ防止対策推進法」及びそれを受けて本年1月、臨時教育委員会会議において原案を議決いただいた「越谷市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等の実効的な対策の実施に関する事項及び同法第28条第1項に規定する、いわゆる「重大事態」に係る事項について調査審議を行うため、新たに条例を制定して、越谷市いじめ防止対策委員会を設置するものでございます。

委員の構成につきましては、法律、医学、心理、福祉等に関し専門的な知識及び経験を有する者のうちから5人以内とし、具体的には弁護士、医師、臨床心理士、社会福祉士、退職校長を予定しております。委員の任期は2年とし、再任を妨げないものといたします。なお、特別の事項を調査審議する必要があるときは、臨時委員を置くことができるものといたします。

委員の報酬等でございますが、去る1月21日に開催された報酬審議会における答申を踏まえ、報酬を月額1万4,000円、費用弁償を月額2,500円とするものでございます。

本条例は、4月1日から施行してまいりたいと考えております。

教育長専決第2号についてのご報告は以上でございます。

住田委員長 ただいまの事務局のご説明に対しまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、この件については報告を受けたということにさせていただきます。

次に、教育長報告「教育長専決第3号について」、教育長のご説明をお願いします。

吉田教育長 学校教育部長。

野口学校教育部長 それでは、専決第3号「平成27年度越谷市教育費予算の見積もりについて」、ご報告をさせていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の19ページをお開きください。

専決第3号 平成27年度越谷市教育費予算の見積もりについて。

平成27年度越谷市教育予算の見積もりについて、別冊のとおり専決処理する。

平成27年2月4日、越谷市教育委員会教育長。

説明に先立ち、お手元に配付いたしました会議資料のうち資料1「平成27年度当初予算主要事業調整結果一覧」の1ページをご覧ください。平成27年度当初予算につきましては、昨年12月の定例会において、各課の重点施策とあわせて、この表に記載してございます主要事業を中心にご説明を申し上げ、ご協議をいただいたところでございます。この表は、主要事業の予算調整結果を一覧で表したものとなります。表のうち、中央の事業概要欄をご覧ください。金額につきましては、主な経費の最終予算額を表しております。なお、予算要求をしましたが、査定の結果、見送りとなった経費につきましては、参考として0円と表記してございます。

また、一番右側の欄になりますが、「平成27年度越谷市教育行政重点施策」における重点的な取り組みの番号と掲載ページを載せています。これは、来年度予算の主要事業が、教育行政重点施策と連動していることを表しています。この資料は、平成27年度当初予算調整結果の主要な部分となりますので、恐れ入りますが、後ほどご参照いただき、ご了承を賜りたいと存じます。

それでは、平成27年度越谷市教育費当初予算の見積もりについて、順次ご説明申し上げます。なお、平成27年度当初予算の見積もりのうち歳出の詳しい内容については、ただいま申し上げましたとおり、後ほどご協議いただく「平成27年度越谷市教育行政重点施策」と連動していることから、重点施策の説明の際に各担当課所長からご説明申し上げますので、私からは別冊1の「平成27年度越谷市教育費予算書」に基づき、その概要についてご説明申し上げます。

それでは、お手元の別冊1の4ページ下段の歳出合計欄をご覧ください。初めに、平成27年度一般会計当初予算は、対前年度比4.3%増の899億円でございます。そのうち10款教育費につきましては、対前年度比5.4%増の92億6,563万3,000円となっております。

次に、恐れ入りますが、10ページをご覧ください。（3）債務負担行為でございますが、こちらにつきましては、大相模小学校に仮設教室を設置するための賃借費について、新たに平成32年度までの債務負担行為を設定するものでございます。

次に、11ページをご覧ください。（4）地方債でございますが、中学校の屋内運動場耐震補強事業、小中学校のアスベスト対策事業及びコミュニティセンター整備事業に係る市債でございます。限度額等につきましては表をご参照いただき、ご了承賜りたいと存じます。

次に、歳入の主なものについてご説明申し上げます。恐れ入りますが、14ページ、15ページの（6）歳入予算説明書をご覧ください。歳入予算の算定にあたっては、過去の収入実績や変動要因を十分考慮するとともに、国県支出金については、補助制度の改正内容や事業内容等を精査した上で計上しております。

初めに、11款分担金及び負担金、1項負担金、7目教育費負担金につきましては、日本スポーツ振興センター負担金1,210万円を計上いたします。

12款使用料及び手数料、1項使用料、7目教育使用料につきましては、科学技術体験センターをはじめとした各教育施設の使用料及び行政財産使用料として2億1,913万円を計上いたします。

16ページ、17ページをご覧ください。13款国庫支出金、2項国庫補助金、5目教育費国庫補助金につきましては、小中学校アスベスト対策事業費補助金3,290万円や幼稚園就園奨励費補助金1億2,200万円が主なものでございます。

14款県支出金のうち2項県補助金、7目教育費県補助金につきましては、いじめ・不登校対策充実事業助成金900万円や、被災児童生徒就学等支援事業費補助金合計110万円が主なものでございます。

18ページ、19ページをご覧ください。14款県支出金、3項委託金、4目教育費委託金につきましては、学校応援団推進事業委託金130万円を計上いたします。

19款諸収入のうち、3項貸付金元利収入、5目入学準備金貸付金収入につきましては、入学準備金貸付金償還金3,800万円を計上いたします。

6項雑入、1目雑入につきましては、学校給食費実費徴収金13億2,800万円のほか、各種実費徴収金等を計上いたします。

20ページ、21ページをご覧ください。20款市債、1項市債、7目教育債につきましては、小中学校のアスベスト対策事業、中学校の屋内運動場耐震補強事業及びコミュニティセンター整備事業に係る市債を計上いたします。

以上が歳入の予算の主なものでございます。

続きまして、歳出の主なものについて順次ご説明申し上げます。冊子の中ほどにピンク色の合紙がありまして、それ以降の部分となります。教育費事業別予算説明書の4ページをお開きください。初めに、4款衛生費に教育委員会の事業に係る経費がございますので、ご説明申し上げます。4款衛生費、2項環境保全費、1目環境対策費の環境対策事業につきましては、今年度に引き続き実施する学校給食用食材の放射性物質測定に係る経費として46万円を計上いたします。

次に、10款教育費の主なものにつきましてご説明申し上げます。

初めに、ページが飛びまして、10ページ、11ページの下段になりますが、1項教育総務費、2目事務局費のうち教育振興基本計画策定事業につきましては、平成28年度から平成32年度までを計画期間とする「第2期越谷市教育振興基本計画」を策定するための経費として、印刷製本費200万円と計画策定委託料350万円を計上いたします。

次に、22ページ、23ページの中段になりますが、4目教育センター費のうち、教育相談事業につきましては、不登校やいじめ等の課題を抱える児童生徒や保護者の相談にあたるため、各種相談員やスクールソーシャルワーカーの報酬など、6,075万円を計上いたします。

次に、36ページ、37ページ中段になりますが、2項小学校費、1目学校管理費のうち、空調設備設置事業につきましては、小学校15校分の普通教室等へのエアコン設置及び更新に係る実施設計委託料として、3,800万円を計上いたします。

次に、44ページ、45ページの下段、3項中学校費、1目学校管理費のうち、中学校施設改修費につきましては、校舎等の計画的な改修工事費等のほか、富士中学校の敷地拡張に伴う用地購入費として9,000万円を計上いたします。

次に、50ページ、51ページの上段、3目学校建設費のうち非構造部材耐震補強事業につきましては、東中学校の屋内運動場等における非構造部材の耐震補強工事費として2,970万円を計上いたします。

次に、70ページ、71ページの上段になりますが、6項社会教育費、3目コミュニティセンター費のうち、コミュニティセンター管理費につきましては、管理運営委託料5億4,300万円のほか、小ホール客席吊天井の改修にかかる施設改修工事費4,800万円などを計上いたします。

次に、76ページ、77ページの下段になりますが、5目図書館費のうち蔵書等整備事業につきましては、資料管理の充実と利用者の利便性の向上を図るため、図書館システム電算委託料4,530万円のほか、図書装備委託料1,290万円などを計上いたします。

次に、88、89ページの上段になりますが、7項保健体育費、2目学校給食費のうち、学校給食栄養管理事業につきましては、給食内容の充実を図るため、給食材料費13億3,600万円のほか学校給食の提供に係る経費を計上いたします。

次に、94ページ、95ページの中段になりますが、3目体育費のうち、スポーツ教室等開催事業につきましては、勤労者スポーツ教室や障がい者スポーツ教室、老人福祉施設出前講座など、誰もが気軽に参加できるスポーツ教室を実施するための経費として、講師等謝礼155万円などを計上いたします。

以上が歳出予算の主なものでございます。

専決第3号についての報告は以上でございます。

住田委員長 ただいま事務局のご説明に対しまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

櫻田委員。

櫻田委員長職務代理者 支出のほうの36ページですけれども、2点ほど確認、質問があります。

1つはアスベストですけれども、毎年少しずつ除去工事を行っているとありますが、あと何校残っていますでしょうか。それと、その次の空調ですが、今年度実施設計ということは、来年工事に入るということでしょうか。

吉田教育長 学校管理課長。

日下部学校管理課長 ただいまのご質問についてお答えをさせていただきます。

まず、1点目のアスベストに係る除去工事でございますが、アスベストにつきましては、平成17年に越谷市では対策本部を設置いたしまして、第1次アスベスト除去工事を実施いたしました。現在は、第2次のアスベスト除去工事ということで実施しておりますが、対象校は21校でございます。平成27年度が最終年度でございまして、小学校3校、中学校4校、合計7校をもって終了する予定でございます。しっかりと取り組んでまいりますので、ご理解賜りたいと存じます。

続きまして、2点目の空調設備設置工事でございますが、この件につきましては、多くの市民の皆様、議会等においても一般質問等々で空調設備の設置についての早期実現ということでご要望を伺っているところでございます。それらを踏まえながら、平成26年度に全小中学校の基本設計を実施いたしました。その基本設計を踏まえまして、平成27年度に小学校15校の実施設計を行

うわけでございます。

今後の進め方でございますけれども、実施設計と工事を含めて3カ年で実施いたします。まずは小学校を優先して行います。したがって平成27年度に小学校の半分15校、平成28年度に残りの小学校、平成29年度には中学校の実施設計を行います。その次のステップとして、実施設計を行った段階で、次に設置工事に入るわけでございます。工事は、小学校が平成28年度15校で平成29年に15校を行い、平成30年度には中学校の工事を行って、都合3カ年計画で空調設備の設置工事を実施したいと考えております。可能な限り早くというご要望であったわけですが、越谷市の財政事情、平成27年度以降は非常に厳しい状況であるということで、財政当局と調整を図りまして、このような計画で進めることになったものでございます。何とぞご理解を賜りたいと存じます。

住田委員長 他には。

堀川委員。

堀川委員 歳入のほうで19ページの学校給食費の徴収金13億円ぐらい徴収されていますけれども、割合としては何%ぐらい徴収されていますか。

吉田教育長 給食課長。

川村給食課長 こちらにつきましては、歳入の積算根拠といたしますと、従来の収納率を勘案して計上しております。最終的な年度別の収納率で申し上げますと、平成22年度分以降99.8%台の収納率を維持してございます。

堀川委員 ありがとうございます。

済みません。あともう一点、歳出のほうの88ページの同じく給食のことなのですが、残菜処理委託料、残菜運搬委託料とありますけれども、処理するものと運搬するものの違いと、あと残菜というのは年間どれぐらいの量が出るのか、もしわかれれば教えていただければと思います。

吉田教育長 給食課長。

川村給食課長 残菜の処理でございますけれども、給食センターから排出されます残菜ということでございまして、調理で出たもの、それから学校から返ってきたもの等ございますが、基本的には副食等が主なものになっております。残菜の処理につきましては、養豚業者さんに豚の飼料として再利用させていただいております。ただ、3カ所給食センターがございますので、それを3カ所分集めるというところまではこの業者さんにはできないということで、運搬は別の市内の運搬専門の業者さんをお願いしている状況でございます。

また、残菜の量でございますが、ドラム缶で回収させていただいてまして、毎日ドラム缶で4本から5本程度になります。ただし、御飯は別の業者さんが扱っていますので、それには御飯は入っておりません。おかずが主なものです。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 19ページなのですが、入学準備金の貸付金の償還金のこと書いてありますが、現時点で大体回収率はどれくらいなのでしょう、教えてください。

吉田教育長 教育総務課長。

山梨教育総務課長 入学準備金貸付金償還金の回収率につきましてですが、現年度と過年度がございまして、過年度につきましては滞納繰越分でございますので20%前後、現年度につきましては80%ほどを見込んでおります。

進藤委員 そうすると、この3,800万は大体どれくらいの回収率を想定して計上しているのでしょうか。

吉田教育長 教育総務課長。

山梨教育総務課長 現年度分と過年度分を合わせまして、約50%を想定しています。

住田委員長 他にはございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、ないようですので、この件については報告を受けたということにさせていただきます。

次に、教育長報告「教育長専決第4号について」、教育長のご説明をお願いします。

吉田教育長 教育総務課長。

山梨教育総務課長 それでは、専決第4号「平成26年度越谷市教育費補正予算の見積もりについて」ご報告をさせていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の21ページをお開きください。

専決第4号 平成26年度越谷市教育費補正予算の見積もりについて。

平成26年度越谷市教育費補正予算の見積もりについて、別冊のとおり専決処理する。

平成27年2月4日、越谷市教育委員会教育長。

恐れ入りますが、別冊2の「平成26年度越谷市教育費補正予算総括表及び予算説明書」の2ページ及び3ページをご覧いただきたいと存じます。

初めに、歳入についてご説明させていただきます。3ページ下段の歳入合計欄をご覧ください。教育委員会に関する歳入につきましては、今回800万円を減額し、補正後の総額は18億1,292万円となっております。

歳入の内容でございますが、10ページ及び11ページの2予算説明書の（1）歳入予算説明書をご覧ください。13款国庫支出金、2項国庫補助金、5目教育費国庫補助金につきましては、小中学校のアスベスト除去工事にかかわる事業費の確定に伴い、小学校費補助金50万円、中学校費補

助金220万円をそれぞれ減額するものでございます。

20款市債、1項市債、8目教育債につきましては、国庫補助金と同様に、小中学校のアスベスト除去工事に係る事業費の確定に伴い、小学校債90万円、中学校債440万円をそれぞれ減額するものでございます。

次に、歳出についてでございますが、戻りまして5ページ下段の教育費にかかわる歳出合計欄をご覧ください。今回3,159万円を減額し、補正後の総額は89億7,734万5,000円となります。

歳出の内容について、ご説明を申し上げます。14ページ及び15ページの(3)、事業別予算説明書をご覧ください。10款教育費、1項教育総務費、4目教育センター費の校内系ネットワーク運用事業につきましては、事業費の確定に伴い、校内系中学校ネットワーク保守管理等委託料249万円を減額するものでございます。

2項小学校費、1目学校管理費のアスベスト対策事業費につきましては、事業費の確定に伴い、アスベスト除去工事費130万円を減額するものでございます。

3項中学校費、1目学校管理費のアスベスト対策事業費につきましては、事業費の確定に伴い、アスベスト除去工事費580万円を減額するものでございます。

6項社会教育費、3目コミュニティセンター費のコミュニティセンター管理費につきましては、事業の進捗に伴い、施設改修工事費2,200万円を減額するものでございます。

恐れ入りますが、6ページにお戻りください。(3)地方債の変更ですが、歳入でご説明いたしましたとおり、小中学校のアスベスト除去工事に係る事業費の確定に伴い、市債の限度額を変更するものでございます。

説明につきましては以上でございます。

住田委員長 ただいまの事務局のご説明に対しまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、この件については報告を受けたということにさせていただきます。

◎平成27年度越谷市教育行政重点施策について

住田委員長 それでは、続きまして協議事項に入ります。

「平成27年度越谷市教育行政重点施策について」、教育長のご説明を求めます。

吉田教育長 教育総務部長。

横川教育総務部長 それでは、協議事項の「平成27年度越谷市教育行政重点施策について」ご説明申し上げます。

まず、私のほうからスケジュールの確認と策定にあたっての考え方等についてご説明をさせて

いただいた後、各担当課所長から「重点的な取り組み」及び「重点事業」について、順次ご説明をさせていただきます。その後、委員の皆様にご説明について協議をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、初めに策定スケジュールについて確認をさせていただきます。お手元の資料の3の「平成27年度『教育行政方針』及び『教育行政重点施策』策定スケジュール」をご覧ください。本日の会議は、こちらの資料の網かけをしてある2月19日の箇所になります。

「教育行政重点施策」につきましては、1月定例教育委員会会議におきまして議決をいただきました「教育行政方針」との整合を図るため、並行して調整を行ってまいりました。具体的には、スケジュールの中の10月23日開催の10月定例教育委員会会議で、「教育行政方針」と「教育行政重点施策」の双方に反映させる事業を「重点事業一覧表」という形で提案し、委員の皆様のご了承をいただきました。その後、「市長2期目の所信表明」や「平成27年度当初予算の調整結果」、さらには「教育行政方針に盛り込んだ内容との整合性」などを踏まえまして、「重点事業一覧表」の修正を行いましたので、改めてお手元に配付をさせていただきました。

お手元の資料の2「平成27年度教育行政重点事業一覧表」をご覧くださいと思います。この一覧表の見方ですが、表紙をめくっていただきまして、一覧表の5ページ、上から2段目の「生涯学習リーダーバンクの登録の促進」、また6ページの上から4段目の「能楽堂のトイレ改修工事」、この2つの重点事業については、調整の結果、削除した事業でございます。

その他、またお戻りいただきまして、1ページ1段目、それから4段目のように網かけをした事業は、大きな追加や変更を行った事業となっております。なお、単なる言い換えや細かな字句の変更箇所については網かけをしておりませんので、ご了承くださいと存じます。

詳細につきましては、後ほどご参照いただきたいと思いますのですが、この一覧表をもとに本日ご協議をいただきます別冊3の「平成27年度越谷市教育行政重点施策（案）」を作成いたしました。

今後のスケジュールにつきましては、本日の協議結果を踏まえ、再度事務局内で調整を行った後、3月26日開催予定の定例教育委員会会議に議案として提出をしたいと考えております。スケジュールについては以上でございます。

次に、平成27年度教育行政重点施策の策定にあたっての考え方等についてご説明をさせていただきます。恐れ入りますが、お手元の別冊3の「平成27年度越谷市教育行政重点施策（案）」の表紙を含めて2枚めくっていただきまして、目次をご覧くださいと思います。この冊子は、平成26年度版と同じ構成となっております。1ページから7ページまでは3月定例市議会において表明いたします「平成27年度教育行政方針」を掲載し、9ページから38ページまでが本編となっております教育行政重点施策の内容となります。39ページ以降には、資料といたしまして各事業の資料及び教育費予算を掲載しております。

それでは、こちらの9ページをご覧くださいと思います。ここからが「教育行政重点施策」の内容となります。重点施策では、教育行政方針を受け、平成27年度に特に重点的に取り組む教育施策の具体的な事業内容を明示いたします。教育振興基本計画を真に実効性のある計画とするための単年度の実行計画的な位置づけとし、PDCAのマネジメントサイクルにおいてはDの実行にあたる部分となります。

次の10ページから13ページ目までは、当該年度の「重点的な取り組み」及び「重点事業」を一覧表にまとめ、ひと目でわかるよう簡潔明瞭に表記をしております。また、事業の詳細をすぐに検索できるよう関連ページを表示するとともに、新規事業及び拡充事業についてはそれぞれ（新規）、（拡充）と括弧書きで表示をしております。平成26年度と比較いたしまして、「重点的な取り組み」の数につきましては49から47と2つ減少、「重点事業」の数につきましては60事業から58事業へと2事業減少いたしました。平成26年度版に引き続き、新規・拡充事業に限らず、継続事業であっても重点的に取り組む事業については掲載をすることとし、教育行政方針と整合を図っております。

次に、14ページをご覧くださいと思います。こちらは「重点的な取り組み」及び「重点事業」の見方となっております。次の15ページから29ページまで、教育振興基本計画における3つの基本目標と、それぞれの施策の方向ごとに黒い★印で示した重点的な取り組み、白い○で示した重点事業、それから点（・）で示した重点事業を達成するための具体的な方法をそれぞれ掲載しております。具体的な内容につきましては、この後各課所長からご説明をさせていただきます。策定にあたっての考え方等についての説明は以上でございます。

それでは、資料の15ページ以降の「重点的な取り組み」及び「重点事業」について、担当課所長から順次ご説明をさせていただきます。

大西教育センター所長 それでは、15ページをご覧ください。重点的な取り組み1、ICTを活用した教育の充実ということで教育センターが担当しております。2億5,900万円を計上しております。主に校内系ネットワークを活用した児童生徒のICT活用力の向上を図るため、中学校のパソコン室のコンピューターの入れ替えあるいはデジカメ、ビデオ等機器の入れ替えを予定しております。

上野学務課長 続きまして、重点的な取り組み2、中学校選択制の推進でございます。平成18年度入学生から導入した中学校選択制ですが、毎年度保護者の9割以上の方からよい評価を得ています。今後、小中一貫教育の兼ね合いで実施方法等については検討していく必要もあるかと思いますが、次年度も特色ある学校づくりの推進、小学校における進路指導の充実、適切な学校公開日の設定や学校説明会の実施等をとおして、生徒一人ひとりが充実した中学校生活を送れるように中学校選択制を推進してまいります。

大西教育センター所長 重点的な取り組み3、情報モラル教育の推進でございます。先ほどの取り組み1と関連するものでございますが、ハード面やソフトの整備と並行して、使う側のモラルやリテラシーを高めることを狙いとして研修会を進めてまいりたいと思います。

五十畑指導課長 続きまして、重点的な取り組み4、学校図書館の充実でございます。学校司書の増員と効果的な活用ということで、予算3,535万円、拡充でございます。今まで12名の学校司書を配置しておりましたが、2名増員で14名体制にするということが一番大きな拡充の部分でございます。なお、学校図書法の一部改正に伴いまして、学校図書館支援員という名前を学校司書という名前に変更させていただきます。

続きまして、指導内容の充実と指導方法の工夫改善、重点的な取り組み5、小中一貫教育を中心とする研究委嘱等の推進、685万円、拡充でございます。平成27年度から市内小中学校45校一斉に小中一貫教育を実施するというので、その意味合いをもって大きく拡充ということにさせていただきました。

続きまして、16ページでございます。重点的な取り組み6、教科用図書関連事業の推進、教科書採択事務の円滑な実施ということで、平成26年度は小学校用教科用図書の採択、平成27年度につきましては中学校用図書の採択を引き続き行いたいと思います。単独採択地区として、今年度と同じような形で中学校の教科用図書を採択してまいりますので、ご協力をお願いしたいと思います。

大西教育センター所長 続きまして、重点的な取り組み7、幼保小の連携、小1プロブレムの解消をめざす教職員・幼稚園教諭・保育士の資質向上ということで継続でございます。教職員、幼稚園教諭、保育士を対象とした研修を実施してまいります。

山梨教育総務課長 続きまして、重点的な取り組み8、幼稚園教育の振興につきましては、幼児期教育への支援といたしまして予算5億6,660万円を計上いたしております。保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園就園奨励費補助金の支給、また幼稚園の設備の充実、さらに幼稚園教職員の研修のための補助金の交付を行ってまいります。また、引き続き私立幼稚園協会との連携も図ってまいります。

大西教育センター所長 続きまして、重点的な取り組み9、特別支援教育に関する教職員研修の充実でございます。若手教職員の指導力の向上をめざして、特に4年から9年次の若手教職員、また特別支援教育を担当している2年次から3年次、さらに新任の教員を対象に県立大学の教師等の指導を受けながら研修会を充実していきます。

五十畑指導課長 続きまして、17ページをご覧ください。重点的な取り組み10、環境教育における教材開発と活用の推進、環境教育資料の充実でございます。継続でございます。主な取り組みといたしましては、環境教育資料「しらこぼと」中学生版をデジタル化し、コンテンツのほうに入

れていきたいと思います。また、ホームページ「越谷の環境教育」につきましても整備、充実させていきたいと思います。

続きまして、重点的な取り組み11、地域の自然や施設の活用の推進、環境問題を意識した体験学習の実施、予算785万円、拡充でございます。拡充の主な理由でございますが、越谷生物多様性子ども調査を平成27年度は小学校全30校で実施するというのが一番大きな内容でございます。なお、学校ビオトープのほうの整備も引き続き行ってまいりたいと思います。

続きまして、施策の方向2、自立して生きていくための基礎となる健康な心と体を育む。健康・安全教育の充実、重点的な取り組み12、安全教育・安全管理の充実、防災教育の充実、継続でございます。引き続き、竜巻等あるいは水害等を意識した効果的な避難訓練あるいは避難所開設等に向けて、各学校の取り組みを支援してまいりたいと思います。

続きまして、18ページをお開きください。心の教育の充実、重点的な取り組み13、きめ細やかな生徒指導体制の充実ということで、越谷市いじめ防止基本方針を踏まえたいじめの防止等に係る事業の推進、予算244万円、拡充でございます。主に、越谷市いじめ問題対策連絡協議会及び越谷市いじめ防止対策委員会の設置と効果的な運営、また新たに策定いたします越谷市いじめ防止基本方針を踏まえて、教職員用のいじめ対応マニュアルをこれを機に改定に取り組んでいきたいと思っています。

大西教育センター所長 続きまして、教育相談の充実ということで、重点的な取り組み14、教育相談体制の充実、予算6,075万円、拡充でございます。拡充の主な内容は、中核市移行に伴い、本市独自でスクールソーシャルワーカーを採用することでございます。1名増員で3名分の予算をいただきました。特にスクールソーシャルワーカーを中心にしまして、学校相談員、スクールカウンセラー、学び総合指導員と連携を図りながら、教育相談体制を充実してまいりたいと思います。

五十畑指導課長 続きまして、重点的な取り組み15でございますが、重点的な取り組み13を再掲しております。拡充ということで244万円の予算をいただき、支援を推進してまいりたいと思います。

大西教育センター所長 重点的な取り組み16、不登校児童生徒への教育的支援ということで、家庭・学校・教育センターの連携、特に適応指導教室「おあしす」を中心に、不登校児童生徒の学校復帰を目指して支援を実施してまいりたいと思います。

川村給食課長 続きまして、19ページをご覧ください。重点的な取り組み17、栄養管理の充実でございますが、初めに食物アレルギーへの対策につきましては、食物アレルギーに対応したパンやデザートを提供に引き続き努めてまいります。さらに、食物アレルギーの対応に関する研修、情報交換等を実施し、教職員の意識向上を図り、事故防止に努めてまいります。

次に、給食献立の研究につきましては、予算額5万円でございますが、平成27年度につきましては魚料理を取り入れた献立の導入をいたしまして、伝統的な日本の食文化の紹介を行ってまい

ります。

続きまして、重点的な取り組みの18、食に関する指導の充実でございます。初めに「魚」についての指導でございますが、こちらは新規事業になりますが、各学年に応じました魚に関する指導や魚レシピ集の配付等を行ってまいります。

続きまして、地場農産物の使用拡大につきましては、拡充事業でございます。予算額1億8,000万円でございますが、地域産業の関心を高め、食への感謝の気持ちを育むため、給食で使用いたします地場農産物の使用量の拡大、さらに地場産米の「彩のかがやき」の使用量拡大に努めてまいります。

続きまして、学校・家庭・地域の連携でございますが、こちらにつきましては継続事業でございますが、引き続きPTAへの学校給食推進研究委嘱等を行ってまいりたいと思います。

五十畑指導課長 続きまして、学校教育における人権教育の推進、重点的な取り組み19、教職員研修の充実、豊かな人権感覚を身につけるための研修の実施ということで、予算額99万円でございます。継続でございます。内容につきましては、各種校長研修会をはじめとする管理職研修会、さらに人権教育担当主任を対象とした研修会、新採用、転入教職員を対象とした研修会、さらに各学校での研修会等を支援、実施していきたいと思います。

日下部学校管理課長 続きまして、20ページでございます。施策の方向3、信頼される、質の高い教育を進めるでございます。

重点的な取り組み20、学校環境の整備と維持管理の充実でございます。6つの重点事業でございますけれども、まず初めに非構造部材の耐震化2,970万円でございます。東中学校につきましては、大規模地震に備えた屋内運動場等の非構造部材の改修工事について、アスベスト除去工事と一緒に進めてまいります。

続きまして、小学校仮設教室の借り上げ、450万円、新規事業でございます。これは、レイクタウン特定土地区画整理事業における大相模小学校の通学区域内の児童数の増加が見込まれ、今後教室数に不足が生じることにより、仮設教室を借り上げるものでございます。不足教室につきましては、将来推計として平成27年度より平成32年度の6年間の児童数の推移を鑑みまして、クラスに換算いたしまして、最高10クラスの増加が見込まれるところでございます。

続きまして、安全で快適な学習環境の確保1億6,280万円です。学校施設におきましては、老朽化などによる緊急性の高い箇所から計画的に修繕工事を行ってまいります。

続きまして、アスベスト対策の実施1億270万円でございます。アスベスト除去工事につきましては、小学校3校、中学校4校の合わせて7校を実施してまいります。平成23年度から計画的に実施しておりまして、平成27年度をもって終了する予定でございます。

続きまして、教室へのエアコン整備3,800万円でございます。普通教室等へのエアコン設置に向

けまして、平成26年度につきましては全小中学校45校を対象とした基本設計を実施し、その内容を踏まえまして、具体的な設置スケジュール等を検討させていただきました。その結果、平成28年度より小学校15校ずつを2カ年で、中学校については1カ年で、合計3カ年で平成30年度を目途にエアコン整備を進める予定でございます。そのことから、平成27年度に小学校15校の実施設計を行うものでございます。

最後でございますけれども、トイレの洋式化400万円でございます。トイレの洋式化につきましては、第4次の越谷市総合振興計画に基づく福祉環境整備の一環として、校舎ごと、階ごとに男女各1カ所の洋式便器への改修工事に取り組みまして、平成27年度に大間野小学校と花田小学校を実施することによりまして、この考え方に基づく整備が終了するところでございます。したがって、トイレの洋式化のあり方につきましては、今後さらに検討協議を行いまして、平成28年度より引き続いてトイレの洋式化を推進してまいります。

山梨教育総務課長 続きまして、次のページ、重点的な取り組み21、多様な就学機会への支援につきましては、入学準備金貸付制度の活用の促進と適切な運用のために予算を4,000万円計上いたしまして、制度周知のため中学校3年生の保護者全員及び市内高等学校等への案内書を配付するとともに、償還金滞納者に対する臨宅催告等の実施をしてまいります。

上野学務課長 同じく重点的な取り組み21の2つ目の重点事業でございますが、就学援助制度の円滑な実施と適切な運用です。予算は小学校費1億7,060万円、中学校費1億7,520万円の合計3億4,580万円を計上しております。経済的な理由のため就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して支援ができますよう、全児童生徒の保護者にリーフレットを配付して、制度の周知と就学援助システムを活用した制度の円滑な実施に努めてまいります。

次に、重点的な取り組み22、臨時教職員の配置です。予算額は4,020万円となっております。この取り組みの主なものは、次の3点です。1点目は、病休担任等の県費発令前の期間に担任不在を解消するために市費で任用するものです。2点目は、特別支援学級及び通常学級への特別支援教育支援員の配置です。各学校からの申請に基づき、教育センターと連携して、児童生徒の実態をつかみ、特別に支援を要する児童生徒に対応して、効果的な配置に努めているところです。この配置につきまして、児童生徒の豊かな学校生活と円滑な学校運営のための支援の側面からも重点としてまいります。平成27年度当初は、前年度より2名増員して45名を配置する予定でございます。

3点目の日本語指導員ですが、近年増加しております外国人児童生徒が円滑に小中学校に適應できるよう、指導課と連携して効果的な配置に努めてまいります。

大西教育センター所長 続きまして、教育センター機能の充実・活用、重点的な取り組み23、教職員の資質・指導力の向上、新規でございます。これは、埼玉県から移譲される県費負担教職員研

修の円滑な実施ということで、特に法定研修でございます初任、10年、5年、20年の経験者研修を本市独自で実施していくものでございます。従来よりも約300回の研修を増設していきます。また、それ以外の県実施の研修に参加する場合には委託料が発生しますので、その県への委託料も含まれております。

続きまして、教職員の資質の向上、重点的な取り組み24、教職員研修の充実ということで、481万円計上しておりますが、先ほどの23と同じ研修でございますので、この中に研修の委託料等も含まれております。先ほどの研修移譲に伴いまして、従来教育センターで行ってきました研修を、さらに充実させていきたいと考えております。

五十畑指導課長 22ページに入りますが、地域に根ざした特色ある学校づくりということで、重点的な取り組み25、学校応援団の推進でございます。学校応援団活動の活性化ということで、400万円の予算で、継続でございます。主な取り組みといたしましては、学校応援団づくり推進委員会の開催運営、各学校における学習活動や安全安心確保に対する支援、学校図書館ボランティアの活動あるいは学校の教育整備等へ学校応援団の方がたくさんいらっしゃいますが、その方たちの活動を支えられるように交付金等を各学校に交付してまいりたいと思います。

斉藤生涯学習課長 基本目標2、生涯にわたる学びを充実し、地域の文化を創造する。施策の方向1、生涯を通じた学習活動を推進する。

学習活動の充実と学習成果の活用、重点的な取り組み26でございます。ライフステージ・ライフスタイルに対応した学習機会の充実、予算額は1,346万4,000円でございます。学ぶことの大切さを知り、心豊かに生活できるよう、市民との協働による生涯学習フェスティバルの開催や、地区センター、公民館における各種学級、講座を開催するなど、ライフステージ・ライフスタイルに応じた学習機会の充実に努めてまいります。

次に、重点的な取り組み27、循環型生涯学習の推進でございます。予算額は13万6,000円でございます。学習成果を地域社会に生かすことができるよう、生涯学習リーダー・ボランティア養成講座の開催や生涯学習リーダーバンクへの登録の促進に努めてまいります。

次に、重点的な取り組み28、人権教育推進事業の充実でございます。予算額は293万6,000円でございます。人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権意識の高揚を図るため、講演会や講座等を開催し、人権同和問題の普及啓発に努めてまいります。

小林図書館長 続きまして、図書館でございますけれども、23ページ及び24ページに一括して掲載されておりますので、順次ご説明申し上げます。

まず、重点的な取り組み29ですが、図書館機能の充実として2項目ございます。1点目としては、南部図書室の蔵書等の充実、1,442万円であります。南部図書室につきましては、本市の南部地域における図書館サービスの拠点とすべく、昨年からの施設の拡充、移設をしましたが、今後と

も計画的な蔵書等の充実やこども図書室の有効活用を図ることにより、利用者の増加と定着につなげてまいります。

また、2点目の歴史的資料の整理保存331万円ですが、図書館の機能としては日々の図書の貸し出しに加え、歴史的な資料の整理保存というものも一方において重要な取り組みでございます。具体的には、市史編さん事業及び未整理資料の整理と目録化や中性紙封筒、中性紙保存箱等による資料保存を行うとともに、劣化のおそれがある貴重資料については殺虫、殺菌のための燻蒸を施し、劣化を抑制する対策を講じてまいります。なお、より多くの方々に情報発信ができるよう、資料のデジタル化による保存と活用の充実に取り組んでまいります。

次に、24ページの重点的な取り組み30ですが、図書館システムの活用による利便性の向上、7,040万円になります。こちらについては、本館や北部、南部、中央の図書室のどこで借りて、どこへ返してもよいというようなネットワーク化された一体的、効率的なサービスを提供してまいります。また、蔵書検索の効率化や平成24年11月から視聴覚資料としてのCD、DVDの予約も始めましたので、それらを含む図書館資料のインターネット予約にも対応しております。さらに、持ち去り防止装置と自動貸出機の運用につきましては、平成24年度から実証実験的に中央図書室で開始し、その有効性等が確認されておりますので、平成26年度の南部図書室に続き、平成27年度においては本館においても同様に導入してまいります。

次に、重点的な取り組み31の子ども読書活動の推進ですが、1点目としては、講座等の開催を通じて、ご家庭の親御さんや地域のボランティアの方、学校図書館運営ボランティアの方に読み聞かせのノウハウなどを習得していただき、人的な側面から読書活動を推進していこうということがございまして、予算額は24万円であります。具体的には、従来の初級コースの開催回数を年1回から2回に拡充するとともに、新規に中級コースを設けることにより、事業の拡充を図ることとでございます。また、地域家庭文庫の方々のご協力により、新規に親子で楽しむ読み聞かせ会を開催してまいります。

2点目としては、学校等との連携と、子どもが読書に親しむ機会の提供ですが、こちらについては調べ学習への資料提供や図書館見学の実施、また県内では少なくなりましたが、移動図書館というものが本市にはございますので、全ての学童保育室への移動図書館の巡回について引き続き実施してまいります。さらに、児童図書の有効活用ということで、保育所とか小学校等へ児童書、絵本等の所管換えをして、限られた財源の中で図書館活動の環境整備に努めてまいります。また、人材育成の取り組みなどにより、学校図書館運営ボランティア等のご協力による読み聞かせ等の充実を期してまいります。いずれにいたしましても、子ども読書活動の推進につきましては、現実に職員によるサービスには限界がありますので、今後においてはボランティア活動に熱心に取り組んでいらっしゃるの方々などのいわゆる市民力というものをより一層活用させていただ

きたいと考えております。

最後に、重点的な取り組みの32、中央図書室の整備ですが、計画的な蔵書等の充実、966万円になります。中央図書室につきましては、平成24年6月のオープン時に約3万冊の蔵書でスタートしたところであり、平成27年1月の時点では約6万3,000冊となっておりますが、駅前という立地特性に応じたビジネス支援、子育て支援、課題解決支援等の機能をより充実した内容で展開していくために、引き続き計画的な蔵書等を充実させてまいります。

小林科学技術体験センター所長 続きまして、25ページでございます。科学技術体験センターの充実、重点的な取り組みに関してですが、科学体験事業の充実、予算額270万円、拡充でございます。実験、工作体験メニューの見直しを図り、新たな体験メニューを加えて実施してまいります。また、幼児から体験できる事業や大人の方限定の講座など、ライフステージに応じた体験メニューを設定してまいります。

続きまして、重点的な取り組み34、科学講演会や講座・教室の開催、予算額72万円でございます。誰が見ても楽しむことができるような寸劇版サイエンスショーや、学校をはじめ市民の方々が体験できるよう出張サイエンスショーを実施してまいります。また、サイエンスボランティアのアイデアや特技を生かした企画をもとに事業を実施してまいります。

斉藤生涯学習課長 施策の方向2、芸術文化活動を推進し、伝統文化を継承する。芸術文化活動の推進、重点的な取り組み35、発表機会の充実でございます。予算額は691万円でございます。越谷市民文化祭や越谷市美術展覧会の開催、文化総合誌「川のあるまち」の発行など、成果発表の場の提供、充実に努めてまいります。

続きまして、26ページでございます。重点的な取り組み36、越谷コミュニティセンターの適切な管理運営でございます。予算額は5,120万円でございます。こちらにつきましては、安全かつ安心して皆様にご利用いただけますよう、大規模地震に備えた改修工事等を実施するものでございます。

特色ある地域文化の振興及び普及、重点的な取り組み37、伝統文化の振興でございます。予算額は516万円でございます。伝統文化を振興するため、こしがや薪能や越谷市郷土芸能祭などを開催するほか、こしがや能楽体験教室、郷土芸能体験教室を開催し、伝統芸能の普及に努めてまいります。

次に、重点的な取り組み38、日本文化伝承の館こしがや能楽堂の適切な管理運営でございます。新規の取り組みで予算額は400万円でございます。こちらにつきましては、利用者の方の利便性を高めるため、放送設備の入れ替え工事を実施してまいります。

次に、重点的な取り組み39、埋蔵文化財保護の推進でございます。こちらも新規の取り組みで、予算額は70万円でございます。郷土越谷の貴重な文化遺産を後世に継承するため、保存と活用に

努めるものでございます。大道遺跡の発掘調査において、平安時代のものと推定される竪穴式住居跡や土器等の破片が出土しておりますことから、調査結果を取りまとめた中間報告書を作成し、公表してまいります。

植田スポーツ振興課長 27ページをご覧ください。基本目標3、生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる。施策の方向1、スポーツ・レクリエーション活動の充実を図る。活動機会の充実、重点的な取り組み40、各種教室等の充実、ライフスタイルに合わせた活動機会の提供ということで、予算2万5,000円を計上しております。これに関しましては活動機会の少ない勤労者を対象に、夜間スポーツ教室を実施してまいります。

次に、重点的な取り組み41、スポーツ観戦機会の充実、プロスポーツ大会の誘致につきましては、プロ野球イースタンリーグ、日本女子プロ野球を開催します。このほか高校野球の県予選など、高校スポーツを中心に予選会等を開催してまいります。

施策の方向2、スポーツ・レクリエーション活動を支援する体制の充実を図る。組織の充実、重点的な取り組み42、スポーツボランティアの養成につきましては、スポーツボランティアの周知を図り、ボランティアの登録を促進するほか、活用する団体等へ周知を図り、積極的な活用をお願いしたいと考えております。

次に、指導者の養成・確保、重点的な取り組み43、スポーツリーダーバンクの充実につきましても、スポーツリーダーバンク登録者の促進をいろいろな媒体を通して周知をするほか、スポーツ教室等においてリーダーバンク登録者の活用を図ってまいります。

続きまして、28ページをお開きください。施策の方向3、スポーツ・レクリエーション施設の充実を図る。施設の整備・充実、重点的な取り組み44、体育施設の改善・充実につきましては、安全性、利便性の向上を図るため、体育施設の維持管理におきまして2億3,320万円の予算を計上しております。具体的には、総合体育館の会議室のエアコンの設置、北体育館の雨漏りの修繕等を行ってまいります。

施策の方向4、健康ライフスタイルづくりを支援する。子どもの健康・体力づくりの支援、重点的な取り組み45、遊びを通じた健康づくりにつきましては、放課後子ども教室におきましてドッジビーを普及しているところですが、来年度につきましては未実施校におきましてドッジビーを取り入れた教室等を実施してまいりたいと考えております。

続きまして、29ページ、高齢者の健康づくりの支援、重点的な取り組み46、健康・体力づくりの活動機会の充実、高齢者へのスポーツ参加機会の提供につきましては、予算4万円を計上しております。65歳以上を対象とした教室を開催するほか、老人福祉施設に出向きまして、教室を実施する予定であります。

次に、障がい者の健康づくりの支援、重点的な取り組み47、活動機会の充実と交流の促進、障

がい者へのスポーツ参加機会の提供、13万5,000円を計上しております。拡充事業でございます。昨年と同様に障がい者、これは身体、知的両方でございますけれども、対象にスポーツ教室を実施するほか、10月の4日になりますが、総合体育館におきまして近隣から参加者を募り、障がい者スポーツ大会を新規に開催いたしました。種目につきましては、右下に写真があります卓球バレーを開催する予定であります。

説明につきましては以上でございます。

横川教育総務部長 以上をもちまして、平成27年度教育行政重点施策についての説明とさせていただきます。ご協議のほどよろしくお願いいたします。

住田委員長 それでは、これより協議に入ります。ご意見等ございますでしょうか。

櫻田委員。

櫻田委員長職務代理者 21ページの臨時教職員のページのところの日本語指導員のところですが、国際化の中で日本語指導員、今後さらに必要になっていくのではないかと思います。特に大きくなってから来日した中学生などは授業についていくのが大変で、そういう場が唯一相談の場になっているとも聞きました。日本語指導員の現状はどのようになっていますでしょうか。

吉田教育長 学務課長。

上野学務課長 現状につきましては、日本語が話せない外国人の子どもの編入が多くなってございまして、今現在3学期になりますと回数が減るといいますか、予算の関係で3月末まで毎週できないというような部分も出ておりますので、できるだけ予算をとっていきたいとは思っています。指導の対応手段として、1対1だけではなく、1対2などの手段をとるなどしておりまして、予算の増額要望とともに対応方法等も考えながらやっていかなくてはいけないと思っております。ここ二、三年、2月ぐらいから回数が減る傾向が出ています。

櫻田委員長職務代理者 年度末ではなくて、通常はどのぐらいの回数行われておりますか。

上野学務課長 原則として週1回行っておりますが、それが3学期になりますとどうしても回数が減ってきている部分があります。

住田委員長 他には。

では、同じ21ページの就学援助制度のところなのですが、かなり大きなお金が用意されているのですが、概数で結構ですので、小中学校で大体これは何人くらいでしょうか。

吉田教育長 学務課長。

上野学務課長 今およそ20%の児童生徒が支給されておまして、学校によって9%ぐらいから30%ぐらいの範囲で地域格差がございます。およそ5,000人を超えるぐらいの児童生徒が支給を受けているというような現状です。

住田委員長 そんなにたくさんいるのですか。

上野学務課長 今年度の中間期ですけれども、8.7%という学校から、30%を超える学校まであります。市で平均をとると20%ぐらいではないかと思います。

住田委員長 他にどなたか。

吉田教育長 その割合の傾向というのはどうですか。

上野学務課長 平成25年度ぐらいまでが微増といいですか、上がっていたのですが、今高どまりから少し下がってきているところにあるかと思います。ただ、下がり始めてまだ一、二年ですので、長いスパンで見ると下がってきているとは言い切れない状況なのですが、リーマンショックの後、支給率が上がってきたのが平成24年ぐらいでとまって、25年、26年と、少し下がってきている状況でございます。

住田委員長 では、もう一つ、教えていただきたい。

24ページを少し見ていただきたいのですけれども、中ほどのあたりなのですけれども、学校等との連携と子どもが読書に親しむ機会の提供、これ拡充なのですけれども、金額が抜けているのですが、これはお金のかからない拡充なのでしょうか。

吉田教育長 図書館長。

小林図書館長 全体的に冊子自体も金額が入っていない項目と入っている項目があるかと思うのですが、その内容がまさしく入らないというもので、要するに人件費、また内部の事務処理によってこれらを遂行していくという事業でありますので、金額については明示することは逆に困難というふうな事業でございます。

住田委員長 まさに職員のサービス精神ですね。

他にはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 それでは、22ページの学校応援団の推進ということで、先ほどの説明の中に各学校に交付金を活用して活性化を促すということでしたけれども、一律の金額になりますでしょうか。

吉田教育長 指導課長。

五十畑指導課長 交付金でございますが、平成26年度につきましては1校当たり8万7,000円で一律の金額支給でございます。来年度も総額400万円のうち学校等分ということでお渡ししたいと考えております。

堀川委員 ありがとうございます。もう少し金額があると、もっといろんなことができるという、またお声もあるかと思いますが、できるだけということでもよろしくをお願いします。

吉田教育長 これは学校登校時、下校時の見守りがありますけれども、これは人的には膨大な量になりますね。サービスではなくてボランティアなのですけれども。だから、お金の問題ではない部分も評価していかなければいけないのかなというふうに思っているところです。

指導課長。

五十畑指導課長 いま教育長からもありましたけれども、昨日ちょうど学校応援団活動の報告会がありまして、各学校に行っている教育ボランティアの数が、12月末現在の延べ人数で12万2,000人ということで、見守りも含めてですけれども、1校あたり2,700人ということで学校のほうに応援していただいているところでございます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他になければ、いただきましたご意見等を踏まえまして進めていただきたいというふうに思います。

他に何かございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他になければ、以上といたします。

最後に、次回の教育委員会会議の日時でございますが、3月26日木曜日午後1時半から教育委員会室で開催したいと存じますが、いかがでしょうか。

〔「はい」と答える者あり〕

住田委員長 では、そのようにいたしますので、よろしくお願いいたします。

◎閉会の宣告

住田委員長 それでは、これをもちまして、2月の定例教育委員会会議を閉会といたします。

どうもありがとうございました。

(午前11時42分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

委員長 住田 俊

委員 櫻田 玲子

委員 堀川 智子

委員 進藤 秀子

委員 吉田 茂
(教育長)

書記 教育総務課副主幹 渋谷 博之